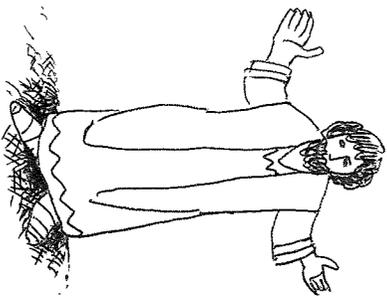


# いずみのひろば

2020年8月号  
日本基督教団 聖公会  
No.499 敬愛学校

「わたしがあなたと共にいる。」

使徒言行録 18:1~11



パウロさんはいろんな町に福音を伝えるために旅をしていました。  
福音とは「イエス様こそ救い主です。」と仰うことです。

どの町や村に行っても、お話をちゃんと言ってくれる人ばかりではありません。

からかったり、おこったり、怖い目にもたくさんあいました。

そしてコリントの町にたった一人で来た時には、とても疲れて心も体もへと

へと、いつもの元氣なパウロさんではありませんでした。

神さまはそんなパウロさんを見捨てたりしません。アキラとプリスキラと言

うユダヤ人の夫婦に出会って、家に住まわせてもらい、一緒にテント作りの仕事

をしました。その後シラスさんとテモテさんもコリントにやって来て、みんなに

助けてもらいながら伝道を続けることができました。

ある時パウロさんの夢の中に神さまがあらわれて、「恐れるな。語り続けよ。

黙っているな。わたしがあなたと共にいる。だから、あなたを襲って危害を加え

る者はない。この町には、わたしの民が大勢いるからだ。」と言いました。

怖がらなくてもよい、わたしがあなたと共にいる、みんなわたしが造った人たち

だから、黙っていないで伝道しなさい。パウロさんはそう励まされ、すばらしい

仲間も与えられそれから1年6ヶ月のあいだ伝道を続けました。

わたしたちは今、目に見えない病を心配しながら毎日の生活を送っています。

でも神さまがいつもそばにいて励ましてくださっていることを忘れないで下さ

い。そしてすばらしい仲間がいつばいいいることも。

（おはなし 玉置幸代先生）

